

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

● ●

1. 事故・ヒヤリハットの別	事事故例
2. 体験した事例の名称	救急出場時の、蛇咬傷について。
3. 体験した事例の中心的要素	指令時の情報不足のため現場到着後、救急隊は傷病者を山林の中で発見した。短靴で出場していたが、傷病者と接触を第一と判断し入山した。傷病者を、救急車へ収容するため下山中に咬傷したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	危険は予測できたが、自分に過信があったため。

【体験した事例の直接的原因について】

● ●

1. 体験した事例の直接的な原因	情報入力に問題があった。
------------------	--------------

【体験した事例について】

● ●

1. 発生日時	平成 16 年 7 月 4 日 午後 5 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：山林
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか (起きそうになったのか)	その他：蛇による咬傷
7. 事例体験時の活動	救急、 [現場活動中期、]
8. (7 の活動中) どのような作業中に発生したか	車両への収容、
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[27]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[8]年、階級[消防士]、同様の活動【初めて】、任務【機関員】
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動【]、任務【]】
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動【]、任務【]】
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	傷病者を全身固定後、救急車へ収容するため傷病者を搬送し、下山していたとき。	下山中、両膝から下は草、落葉のため足元が見えなかった。
経過2			
経過3			
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】

• •

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

個人装備が不適切だった。たまたま、負傷事故になった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があつた。	はい
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかつた。	はい

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかつた。	はい
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかつた。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	はい

h. 足場が悪かった。

・足元が躊躇したり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかつた（適切な指示を与えられなかつた）。

・活動指示が得られなかつた。（無線が通じない等。）	はい
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があつた。

はい：指令時に山林の中との情報が得られなかつたため、短靴で出動したため。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

体調不良時は、当務責任者へ申し出る。

○装備・資機材の対策について

編上げ靴、長靴等を車両へ常時積載する。

○活動環境の対策について

装備、資機材の対策に同じ。

○指揮・情報伝達の対策について

入電時に、現場状況をしっかり聴取して指令に反映させる。